



「率先しよう！」

2006-2007 年度 RI テーマ

RI 会長 ウィリアム B. ボイド  
第 2640 地区ガバナー 三軒久義

# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

### 第 1492 回例会 19 年 6 月 25 日(月)

「初音」 18:30～

#### 最終例会

### 懇親会

☆乾杯・挨拶

副会長 大川幹二

1. 開会点鐘 会長 新垣 勝
2. ロータリーソング 「それこそロータリー」
3. 出席報告  
会員総数 71 名 出席者数 50 名 出席免除会員 1 名  
出席率 71.43% 前回修正出席率 80.00%

#### 4. 会長スピーチ

会長 新垣 勝

みなさん今晚は。私の任期としては今日が最終例会になります。

大川副会長はじめ、役員・理事の皆様、各委員会の委員長さん、それに各事業に参加してくれた会員及び会員の奥様方のご協力とご支援のお蔭で本日を迎えることができました。

一年間本当に有難うございました。心から御礼申し上げます。

#### 5. 幹事報告

○メーキャップ

中村雅行君 和歌山北 RC 6月25日

○例会臨時変更のお知らせ

高野山 RC

7月6日(金) → 7月6日(金) 17:00～

「花菱」

#### 6. 次回例会

第 1493 回例会 平成 19 年 7 月 2 日(月)

於 海南商工会議所 4F 19:00～

#### 7. 閉会点鐘



### 6 月はロータリー 親睦活動月間



本年は大変お世話になり有難うございました。海南東ロータリークラブの益々の発展と皆様方のご健勝を祈念して乾杯いたします。

♪♪乾杯♪♪



### ニコニコ・BOX

新垣 勝君 1年間お世話になり、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

吉野 稔君 //

山田耕造君 //

### 役員のみなさん！ご苦勞様でした！

#### 四つのテスト

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか  
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)  
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：新垣 勝 幹事：吉野 稔 SAA：山田耕造



2007-2008 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは 分かちあいの心」

ROTARY SHARES

2007-2008 RI会長

ウィルフリッドJ. ウィルキンソン氏

親愛なる朋友ロータリアンの皆さん。ロータリアンというのは、実に豊かな多様性に満ちた人々の集まりです。さまざまな国でさまざまな言語を話す私たちは、信仰も政治的見解も、ひいては哲学的な信念をも異にしています。120万人の会員の間に共通する一本の強力な糸が存在するとすれば、それは「分かち合い」という名の精神でできた糸です。ロータリアンは、広大な範囲の人道的、社会的問題に挑むプロジェクトを効果的に遂行するために、自らの時間や才能、専門知識、資金を分かち合っています。また、思いやりと熱意を分かち合い、恵まれない人々を助け、より良い世界を築こうという決意を分かち合っています。さらには、ロータリーを世界第一級の奉仕団体へと発展させた比類なき奉仕への情熱を分かち合っているのです。



この基本的とも言える寛大な精神を 2007-08 年度のテーマに反映したく、私は「ロータリーは分かちあいの心」というテーマを選びました。このテーマが、次年度、すべてのロータリアンにとって誇りの原点となり、また、私たちの活動の原動力となってくれることを願います。私たちの一人ひとりがどれだけの時間とエネルギーをロータリーに捧げるかを定めるわけですが、その決意がやがては、各クラブが地元や海外の地域社会とどれだけ分かち合うことができるかを決定づけるのです。私は皆さんにお願いしたいのです。どうか、これまで以上にロータリーと個人的にかかわり、奉仕プロジェクトと会員増強の両面から積極的に参加してください。私の呼びかける個人的な関与にはロータリー家族の皆さんからの参加も含まれていますが、この「ロータリー家族」は私が継続したいと望むもう一つの強調事項です。ロータリアンとその家族だけでなく、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、ロータリアンの遺族の方々、そしてロータリーの目標と理念の推進に向けて私たちと協同で活動して下さる方々も皆、このファミリーの一員です。ロータリー家族が一体となれば、私たちは奉

仕と親睦の理念と世代を超えて伝えながら、ロータリーのプログラムを世界中に広めていくことができるのです。継続性はロータリーの成功には欠かせない要素ですから、保健、識字率向上、水保全が引き続き次年度の奉仕の焦点となります。これは、多くのクラブにとっては、地元や海外の地域社会において今後もプロジェクトで成果を上げていくことを意味します。

2007-08 年度の計画を立てる際に、もう一つクラブに奨励したいのは、国連ミレニアム開発目標、中でも特にサハラ砂漠以南のアフリカ諸国の「ミレニアム・ビレッジ」プロジェクトへの参加です。これらのビレッジは、ロータリー地域社会共同隊 (RCC) と同様、極貧状態にある地域社会が自助自立を目指すのを支援するボトムアップのアプローチ、つまりは下意上達の形を採っています。この重要な目標を支援するために、ロータリー地域社会共同隊を通じて私たちが学び、蓄えた自助自立推進に関する知識を分かち合おうではありませんか。

2007-08 年度のテーマには、二つの意味があります。一つは、ロータリーは分かちあうということ、もう一つは、私たち皆がロータリーを分かちあうということです。私がロータリアンになってから最初の 30 年間、ロータリーはたゆみない発展を遂げました。しかし、その間ただ一人として新会員を入会させたことのなかった私は、その発展に全く貢献していなかったのです。ロータリーの加盟クラブの数が減り始めたときにはじめて、自分が心から大切に思ってきた組織はもはや放っておいてはひとりでの発展し続けることはできないのだと、突然、気づきました。自分が、そしてすべてのロータリアンが、新会員を連れてくる責務を分かち合わなければならないのだと、そのとき理解したのです。そして私は初めてその責務を果たしました。



次年度、私は皆さん一人ひとりに、それぞれの役割を果たし、地元地域社会の事業や専門職務のリーダーの方々やロータリーを分かち合ってくださいようお願いすることになります。これに加えて、新会員をもたらしたすべてのロータリアンを表彰する計画も準備しました。ともにロータリーの発展に対する責務を分かち合い、すべてのクラブをより充実した存続力あふれる存在にしていきたいと思います。

ダイナミックなプロジェクトのアイデアを立案したり、他の会員を行動へと駆り立てたりする献身的なロータリアンが、すべてのクラブの支柱的存在となることは明白ですが、そのような人物の数は決して多くありません。しかし、私たちが自ら進んで関与することを決意し、その重要な最初の一步を歩み出すなら、そしてただ一言、「はい」と肯定的な返答をすることができたなら、誰もがこのようなロータリアンになれると私は信じています。